

氏名	F・F
専修	国際開発農学専修
学年	学部3年生
渡航先	ベトナム
期間	2018/9/16～2018/9/22
内容	<p>研修の3日目及び4日目に行われた、講義や水田の視察、Seed Production Stationの訪問等のメコンデルタの農業（特に稲作）に関するアクティビティーが最も印象的であった。水田を視察した地域では、現地から伝統的に行なわれている稲作と、収益性の高いエビ養殖を交互に行っていた。この組み合わせにより、エビ養殖時の病気蔓延リスクを軽減し、有機度の高い循環型の農業が取り組まれていたことに、日本では見られない持続的な農業の形を感じた。ただ、現地には、農家と流通・小売業者との間の力関係のアンバランスという課題があり、これにより生産性の向上が素直に農家の利益に直結しない、という他の問題が存在することも話を聞いていてわかった。日本のJAのような農業者組織を作ることも検討されているようであったが、それにも生産物の質の均一化などの面で障壁が多いと言う。農家と消費者と環境と、それぞれにとっての持続性を一致させることの難しさについて、非常に考えさせられる体験であった。</p>

